

開講年次・時期	1年通年	授業回数	30回	時間数	60時間	必修・選択	選択必修	授業形態	講義	単位数	4単位
---------	------	------	-----	-----	------	-------	------	------	----	-----	-----

科目コード	NC210	科目名	介護の基本Ⅰ	担当者名	芳賀 砂智子
授業の概要	介護の歴史や介護福祉の基本となる理念を背景に、介護を必要とする人の尊厳を尊重しながら、地域を基盤とした生活(暮らし)の要素を分析的に理解し生活の継続性を支援するための仕組みを理解する。併せて、その人のニーズを理解する視点を身につけ、介護福祉の専門職としての能力と態度を養う。				
科目の到達目標	①介護ニーズを介護福祉を取り巻く社会的な課題として捉え、尊厳の保持や自立支援という介護福祉の基本となる理念を理解する。 ②地域や施設・在宅の場合、介護予防や看取り、災害時等の場面や状況における介護福祉士の役割と機能を理解する。 ③介護福祉士の倫理、専門性を理解する。 ④ICFの視点に基づくアセスメントを理解し、エンパワメントの視点から自立に向けた介護について理解する。				
DPの観点	⑥専門知識・技術(40%) ⑦思考力(30%) ⑨主体性(30%)				
授業時間外学修(予習・復習)	テキストの専門用語の予習・復習を行う。それぞれ30分程度行うことが望ましい。				
フィードバックの方法	コミュニケーションカードに疑問等を附してもらい、授業終わりまたは次の授業で詳しくフィードバックする。				
単位認定の要件	15回の授業終了後に行う中間試験と、30回の授業終了後に行う期末試験の成績、授業中の勉学意欲・学習態度を単位認定要件とする。				
評価の方法・割合(%)	期末試験(50%)、レポート(30%)、勉学意欲及び学習態度、提出物(20%)				
履修上の注意事項	介護福祉士資格取得必須科目。30分以上の遅刻は欠席とする。遅刻3回で欠席1回とする。				

回数	予定	実施	テーマ・内容	観点	方法
1			授業概要の説明、介護の成り立ち	⑥⑦⑧	コミュニケーションカード
2			介護福祉の歴史① 戦前～1990年代	⑥⑦⑧	コミュニケーションカード
3			介護福祉の歴史② 2000年代以降	⑥⑦⑧	コミュニケーションカード
4			介護の歴史と社会の歴史についてまとめる(資料作成)	⑥⑦⑧	コミュニケーションカード
5			介護の歴史と社会の歴史について(発表)	⑥⑦⑧	コミュニケーションカード
6			介護福祉の基本理念	⑥⑦⑧	コミュニケーションカード
7			自立を支える介護	⑥⑦⑧	コミュニケーションカード
8			社会福祉士及び介護福祉士法	⑥⑦⑧	コミュニケーションカード
9			地域包括ケアシステム	⑥⑦⑧	コミュニケーションカード
10			介護予防、医療的ケア	⑥⑦⑧	コミュニケーションカード
11			災害時の支援	⑥⑦⑧	コミュニケーションカード
12			介護福祉士の役割	⑥⑦⑧	コミュニケーションカード
13			リームリーダーとしての介護福祉士	⑥⑦⑧	コミュニケーションカード
14			介護福祉士を支える団体	⑥⑦⑧	コミュニケーションカード
15			介護福祉士の倫理	⑥⑦⑧	コミュニケーションカード
16			「介護の倫理」と「尊厳ある介護実践」(演習)	⑥⑦⑧	コミュニケーションカード
17			倫理的対応が必要な場合事例	⑥⑦⑧	コミュニケーションカード
18			介護福祉士に求められる職業倫理	⑥⑦⑧	コミュニケーションカード
19			日本介護福祉士会倫理綱領と義務規定	⑥⑦⑧	コミュニケーションカード
20			自立支援	⑥⑦⑧	コミュニケーションカード
21			自立と生活支援	⑥⑦⑧	コミュニケーションカード
22			声がけによる自立支援(演習)	⑥⑦⑧	コミュニケーションカード
23			ICF	⑥⑦⑧	コミュニケーションカード
24			リハビリテーション	⑥⑦⑧	コミュニケーションカード
25			リハビリテーションにおける自立	⑥⑦⑧	コミュニケーションカード
26			介護予防の概念	⑥⑦⑧	コミュニケーションカード
27			高齢者の身体的特性と介護予防	⑥⑦⑧	コミュニケーションカード
28			【外部講師】支援の現場での自立支援	⑥⑦⑧	コミュニケーションカード
29			介護予防の実際	⑥⑦⑧	コミュニケーションカード
30			これまで学習した内容を整理する。	⑥⑦⑧	コミュニケーションカード
期末試験			これまで学習した内容の振り返りを行う。		

使用テキスト	『最新・介護福祉士養成講座』第3巻「介護の基本Ⅰ 第2版」中央法規出版 介護福祉士養成講座編集委員会
参考文献 参考URL	公益社団法人日本介護福祉士会 https://www.jaccw.or.jp/about/rinri
備考	進行状況により、授業のテーマ・内容は変更になる場合がある。

DPの観点	①聴く力②表現力③柔軟性④協調性⑤社会性⑥専門知識・技能⑦思考力⑧実践力⑨主体性⑩問題解決力
-------	--

授業の自己評価	
---------	--